

鳥取県立中央病院 広報誌

赤れんが

第23号

● 院長コラム
● 診療案内他

<理念>

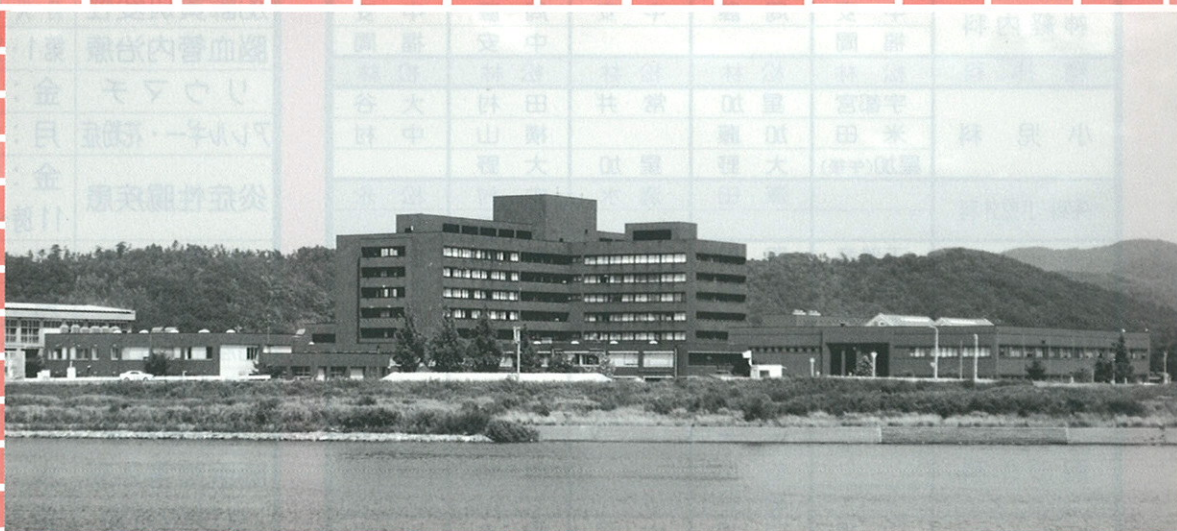
質の高い医療を提供し、患者の生命と健康を守ります

<基本方針>

1. 私たちは、急性期の高度医療と救急医療を提供します
2. 私たちは、研修・研鑽に励み、患者に信頼される医療を提供します
3. 私たちは、他の医療機関との連携を強化し、地域医療の向上に努めます
4. 私たちは、地域に期待される医療従事者を育成します
5. 私たちは、健全な経営基盤の確立を目指します

<急性期病院の役割>

当院は、地域の急性期の患者様を、診療させていただく役割があります。急性期の専門的治療が終わり、病状が安定された方は、担当の医師が判断し、責任を持ってお近くの診療所、かかりつけの医へご紹介いたします。日頃の治療や健康状態を見守る大切な診療所と連携を取り合いますので、ご安心ください。急性期の患者様が一人でも多く、外来受診できますように、どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

医療はもつと変わります
～病院も変わります～

院長 日野 理彦



日本の医療システムが悲鳴をあげている事は今では誰もが知っています。メディアにいつも大きく取り上げられています。日本の経済の低迷が背景にあります。総人口は減少しながら高齢者人口は増加して、2010年の総医療費は35兆円を超え、年1兆円増が続く見通しです。医療費の自己負担が増えつつあります。都市化の社会変化は医療者の都市偏在を生んで、医療の地域格差となつていきます。医学・医療の進歩は医療の高額化、先進医療の自由診療化に向かっています。医療者育成が間に合わない影響も顕著で、医師・看護師不足が常に叫ばれています。いつでもどこでも、少ない自己負担で病院にかかれる時代は終わりました。少しずつ医療改革は行われましたが、現実の変化の方が大きかったため混乱を来しています。

日本の医療システムの変革が遅れたのは事実ですが、1990年代後半から準備されて、2006年から本格化したDPC(診断群分類包括評価)医療費支払いに使われる評価制度の導入はこれまでの医療に対する患者さんと医療者(特に医師)の考え方に変化を求めるものでした。考え方にどんな変化を求めたのでしょうか。患者さんには短期間の入院を了解すること、医療者とはくに医師にはコスト意識を求めました。

併せて病床を急性期、亜急性期、回復期、慢性期(一般、療養・介護)に区分して病院・医療の機能分担を明確にしました。患者さんは病状に合わせて病院を変えることになります。適切な処置を受けられることに目的がありますが、医療費抑制の意味もあります。

2012年度診療報酬改定は医療をめぐる事情が更に変化したことを、そ

して時代は急速に動いていることを示しています。DPC病院群区分は病院の格付けが更に具体的になってきたことを示しています。高度急性期病院と一般急性期病院の区別と急性期病床削減の前触れと見てよいと思います。制度変更と基準ラインの上昇についてこれら病院のみがつかうてくれば良いと言っているのでしょうか。病院を護送船団方式で守る時代は過ぎ去ったといえます。

鳥取県立中央病院は県東部の基幹病院として充実し、職員の努力によって多くの患者さんの信頼を得ています。救命救急センター、周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、臨床研修指定病院はじめ多くの施設認定・施設指定を受けています。地域のためにも、まずDPC II群病院を取得して、来るべき高度急性期病院指定を受けるべき病院です。しかし、今のままではそうなりません。2年後にII群病院に入るためには相当の能力アップが必要です。2年後には今年度と同じ基準で判定されるとは思えない方が良いでしょう。基準はより高くなるのが普通です。

鳥取県立中央病院に必要な能力アップとは今以上に高密度の医療を意味します。高密度の医療とは救急患者と重症患者を引き受けて、チーム医療で手厚い医療と看護を行い、短い入院期間で退院できる医療です。それは難しいことではありません。今まで心掛けていたことを徹底させることです。我々は地域で責任を果たすために前に進まねばなりません。

平成24年3月末をもって武田前院長が退任となり、平成24年4月に日野新院長が就任しました。

鳥取県立中央病院

外来診療案内

(平成24年6月11日現在)

*緊急手術等で担当医が変更になることがあります。

名 称		月	火	水	木	金
内 科	初 診	小 村	杉 本	村 尾	澄 川	浦 川
		清 水	岡 本	田中(実)	柳 谷	前 田
		杉 本				
	再 診	村 尾	浦 川	田中(孝)	村 尾	清 水
		岡 本	田中(孝)	前 田	小 村	杉 本
		田中(実)			日 野	
			柳 谷	森 田	山 本	吉 野
		陶 山	榎 崎	陶 山	榎 崎	榎 崎
澄 川		細 田				
吉 野						
心 臓 内 科		那 須	菅	菅	菅	(交 替)
		吉 田	吉 田	吉 田	影 嶋	那 須
			那 須			影 嶋
神 経 内 科		中 安	周 藤	中 安	周 藤	中 安
		福 間			中 安	福 間
精 神 科		松 林	松 林	松 林	松 林	松 林
小 児 科		宇都宮	星 加	常 井	田 村	大 谷
		米 田	加 藤		横 山	中 村
		星加(午後)	大 野	星 加	大 野	
外科・小児外科			澤 田	清 水	中 村	松 永
					上 田	
整 形 外 科		下雅意	服 部	村 岡	服 部	服 部
		村 田	村 岡	村 田	下雅意	村 田
		山 本		山 本		山 本
形 成 外 科		坂 井		坂 井		坂 井
脳神経外科				坂 本		
		田 渕		田 渕		中 島
胸 部 外 科			森 本		宮 坂	
			前 田		西 村	
			細 谷			
泌 尿 器 科		山 根	山 根	山 根	根 本	山 根
		鳥大病院医師			渡 邊	
皮 膚 科		河 上	河 上	河 上	河 上	河 上
産 婦 人 科		皆 川	野 中	上 垣	岡 田	大 畠
		岡 田	上 垣	皆 川	大 畠	皆川/野中
		上 垣	大 畠	野 中	上 垣	岡 田
眼 科		伊 藤	春 木	伊 藤	春 木	春 木
耳鼻いんこう科		松 田	鈴 木	松 田	鈴 木	松 尾
		鈴木(午後)				鈴 木
放 射 線 科		藤 原	中 村	中 村	松 末	内 田
口 腔 外 科		倉 立	倉 立	倉 立	倉 立	倉 立
		土 井	土 井	土 井	土 井	土 井
病理診断科／臨床検査科			中 本		中 本	
人 間 ド ッ ク		根 本	根 本	根 本	根 本	陶 山

「患者の皆様へのお願い」

- 健康情報の提供 良質な医療を実現するため、ご自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供してください。
- 医療への参加 ご自身が適切な医療を受けるため、病気の内容を理解するなど積極的に医療へ参加してください。
- ルールの遵守 ご自身の診療に支障をきたさないように診療上のルールを守りください。また、他の患者様の診療に支障をきたさないようご協力ください。お守りいただけない場合は、診療、入院をお断りすることがあります。

※診療上のルールの例

- 病院内で大声を出したり、病院内の器物を破損しない
- 飲酒等により、他の方々に迷惑をかける
- 身体的暴力や暴言、セクシュアルハラスメント、ストーカー行為を行わない

外来診療受付時間 8:30～11:00
(紹介状の無い場合 8:30～10:00)

※外来は、基本的に予約制です。

予約に関する変更・お問い合わせは、午後2時から受け付けます。

面 会 時 間 13:00～19:00

専門外来等

名 称	曜 日	担 当 医
ペースメーカー	水：午前 11時半～12時半	心臓内科(菅)
もの忘れ	火：午後	精神科(松林)
加齢黄斑変性	月・火・木：午後	眼科(伊藤)
脳血管内治療	第1・第3水	脳神経外科(坂本)
リウマチ	金：午前	整形外科(山本)
アレルギー・花粉症	月：午後	耳鼻科(鈴木)
炎症性腸疾患	金：午前 11時～12時	内科(清水)
緩和ケア	月：午後	放射線科(中村)
小児肝炎	月：午後	小児科(星加)
周産期(産科)	水・金：午後	産婦人科(上垣)
婦人科腫瘍	水：午後	産婦人科(皆川・岡田)
思春期外来	月：午後	精神科(松林)
睡眠障害外来	水：午後	精神科(松林)
女性内分泌	金：午後	産婦人科(大畠)
脊椎・脊髄	水：午前	整形外科(村田)

「患者の皆様の権利」

- 良質の医療を受ける権利
患者の皆様は、どなたでも平等に良質な医療を受けることができます。
- 尊厳に対する権利
患者の皆様は、一人の人間として人格、価値観などを尊重されます。
- 説明を受ける権利
患者の皆様は、病気の内容、治療、検査などの効果・危険性について分かりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- 自己決定の権利
患者の皆様は、病気の内容などを十分理解した上で、治療方法などを自らの意思で選択し、適切な医療を受けることができます。
- 選択の自由の権利
患者の皆様は、医療機関を自由に選択することができます。また、治療のどの段階でも別の医師の意見を求めることができます。
- 情報に対する権利
患者の皆様は、自分の診療に関する情報を受けることができます。
- 守秘義務に対する権利
患者の皆様は、診療の過程で得られた個人情報、個人の秘密として厳守されます。

発行 鳥取県立中央病院 (〒680-0901 鳥取市江津730 番地)

院長 日野 理彦

電話 0857-26-2271(代表) ファクシ 0857-29-3227

ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/chuoubyouin/>

E-mail chuoubyouin@pref.tottori.jp

地域連携センター・がん相談・医療相談

平日 8:30～17:00

電話 0857-21-8501(直通)

ファクシ 0857-21-8507(直通)

E-mail chubyo-chiren@pref.tottori.jp

